学校だより
MOIS gazette　2023.12.04　No.8
さいたま市立大宮国際中等教育学校

１２月となり、今年も残すところ１か月となりました。さて、去る１１月は開校以来初めてとなる「公開研究発表会」をはじめ、様々なイベントが開催されました。今回はその一部を紹介させていただきます。

◆公開研究発表会

開校以来初めてとなる「公開研究発表会」が１１月24日（金）に開催されました。これまでも教育関係者が個別にMOISの授業を見学に来ることは多々ありましたが、北は北海道から南は鹿児島まで、１30名を超える教育関係者が一堂に会してMOISの授業について議論をかわすことは今回が初めてでした。本発表会はMOISの行っている教育活動を広く周知するとともに、「*Grit･Growth･Global のマインドセットを育む探究学習における指導方法の研究～生徒の主体的な学びを育み、多様なスキルを身に付けるために～*」というテーマのもと、MOIS教職員の授業力並びに資質を向上することを目的としています。

当日は公立IB校の先輩にあたる札幌開成中等教育学校から西村副校長をお招きし、指導講評をいただいたほか、全国から集まった大学教授、他校の教員、教育を学ぶ学生など、様々な方々とも活発な意見交換をすることができ、とても有意義な時間となりました。参観された方々は口々に「MOISの授業は先進的だ」「MOIS生の持っているスキルはハイレベルだ」という話をしていたようです。今後もこれに慢心することなく、研修等を通して教職員の資質向上を図ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

当日参加者にお配りした資料の表紙は、4年次の生徒が書いてくれました！

４年次の代表生徒による3Gプロジェクトの発表の様子です。

◆MOIS Cup

毎年恒例となっているディベート大会、「MOIS Cup」が行われました。今回も外部から１０校（中学校相当5校、高等学校相当5校）１9チームをお招きし、日本語・英語の2部門に分かれて、言論による熱い戦いが繰り広げられました。１０月２１日（土）には校内予選が、１１月25日（土）には本戦が行われましたが、どの試合も審判が甲乙つけがたい、白熱した展開となりました。右の表は激戦を勝ち抜いて優勝したチームの一覧となります。

中学校 日本語部門	MOIS ９
中学校 英語部門	MOIS D
高等学校 英語部門	**市川学園高校 I**

さて、余談ではありますが、今年4月に兵庫県芦屋市で史上最年少の市長になった髙島峻輔市長は、高校時代、ディベートの全国大会に出場していたそうです。「ディベートがなかったら市長の仕事を満足に進められなかった」と話すなど、短時間でまとめてわかりやすく話す能力を、ディベートで磨いたようです。MOIS Cupはそんなスキルを磨く絶好の機会です。来年も開催予定ですので、次回も多くの生徒に参加してもらいたいと思っています。

日本語ディベート高等学校の部は MOIS 教員とのエキシビションマッチを行い、生徒チームが見事勝利しました！

MOIS gazette 2023.12.04 No.8
学校だより
さいたま市立大宮国際中等教育学校

「TOK & ROK Exhibitions」

IB コーディネータ:Brad Semans

What counts as knowledge? Are some things unknowable? Who owns knowledge? These are just a few of the questions that students in the 5th year are trying to answer in the Theory of Knowledge (TOK) and Roots of Knowledge (ROK) classes. Now, students are preparing for their exhibitions. In the exhibition, students choose three items that represent their answers to one of these, or 32 other questions. Along with the item, students write short texts explaining their answers. This is both challenging and at the end very rewarding. The end result is that students have better understanding of the knowledge they have, will have and how all of that knowledge impacts them and others.

Roots of Knowledge

- All students in the STEM and Liberal arts course
- Term 4, once a week
- Supports students' ability to think and express complex understandings.

Theory of Knowledge

- All students in the Global Course
- One term per week, summer lessons
- One part of the Diploma Programme core

<u>TOK Exhibition</u>

Want to learn more? Join the TOK exhibition on December 23rd from 13:00 to 16:00 in the Community Hall!

1学年 「探究学習と Grit マインドセット」

1学年担当:松山 侑紀

先日はポートフォリオ検討会にお越しいただき、ありがとうございました。第1回と比べ、発表の内容や伝え方に成長を感じたというご感想も多くいただきました。生徒たちの日ごろの努力の成果として身に付けた様々なスキルを、保護者の皆様にも感じていただけていましたら、非常に嬉しいです。さて、先日の LHR の時間に第2回学力推移調査(9 月実施分)の振り返りを行いました。数学の基本問題や、英語のスペルなどで点を落としてしまっている1学年全体の傾向を認識したり、第1回(4月実施分)と比較して各自 GTZ(学習到達ゾーン)がどのように変化したか、自分の得意分野、苦手分野は何か、分析をしたりしました。その後、Classi の学習トレーニングという機能を使って、自分の目指すレベルと自分の現在のレベルから導かれた問題に取り組みました。学校では、授業以外にも LDT や放課後に友人同士で勉強を教え合ったり、Math Gym や English Gym に参加したりする姿も見られます。各自がしっかりと目標を持ち、自分に合ったスタイルで自主学習でも"Grit"のマインドセットをもってほしいと思います。

3G プロジェクトでは、「さいたま engine」がスタートしました。この単元は、生徒たちがイノベーターとなり、地元企業の社員の方と関わりながら、企業のリソースを使って地域をよりよくするための提案をするという探究学習プログラムです。先日、本校と関わってくださる4企業の社員の方々にお越しいただき、会社や事業について説明していただきました。生徒からも様々な質問があがり、企業について詳しく知ることを通して、各グループ、アイディアがより活発に出てきているようでした。3月まで続くこのプログラム、"Grit"マインドセットをもった生徒たちが班で協力しながらどんなイノベーションを生み出すのか、非常に楽しみです。

↑ 企業の方の説明を聞いている様子

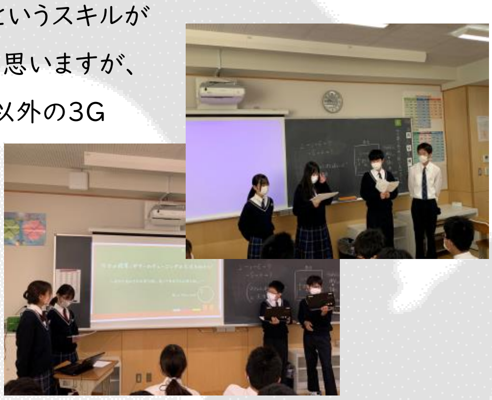
学校だより
MOIS gazette　2023.12.04　No.8
さいたま市立大宮国際中等教育学校

2学年 「表現力」

2学年担当：山下 紘輝

先日はポートフォリオ検討会にお越しいただきありがとうございました。ポートフォリオ検討会は、学習の成果を振り返り、今後の学習において、どのように生かしていくのかを考えるために重要な機会だと思います。2学年の教員一同、子どもたちの様子や姿勢を見ながら、生徒の学習サイクルの充実を図ることができるようにサポートして参ります。

先日、言語と文学の授業では、『論語』の一節を引用して、現代の場面・状況に置き換えて、寸劇を行うという活動を行いました。私自身、これらのクオリティの高さにとても衝撃を受け、ぜひとも保護者の方にもご覧になっていただきたいと思いました。この活動においては、既存の作品を他の文脈に置き換え、的確に表現するというスキルが求められます。なかでも、「的確に表現する」ことはかなり難易度の高いことだと思いますが、最近の生活のなかで、このスキルの向上を実感する場面が多くあります。授業以外の3GやSA 活動のなかでも向上したそのスキルを発揮できている生徒が多くいるように思います。ポートフォリオ検討会のなかで、プレゼンテーションのスキルや内容の明瞭さについて、成長を感じられたという感想を多くいただいたことがその証左だと感じます。今後も、本校での学習活動などを精力的に取り組んでいくことで、より一層スキルを高めていって欲しいと思います。



言語と文学の寸劇の様子

3学年「成長を実感」

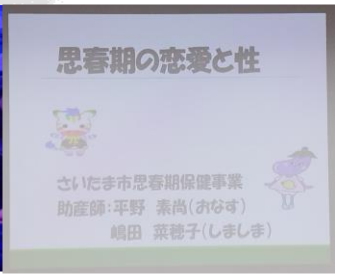
3学年担当：神山 裕章

先日はお忙しい中、ポートフォリオ検討会にお越しいただきありがとうございました。日々の学習の中で成長した点、課題であると認識することができた点、将来につながると感じられた点についてのプレゼンテーションを聞かれ、お子さまの成長を実感していただけたものと思います。検討会の中で時折、基礎学習についての相談をいただくことがありました。MOIS のメインである探究学習を進めるにあたっては知識も必要になってきます。学校での授業に集中して取り組むのはもちろんのこと、提供されているスタディサプリなどの学習教材を家庭でも活用していく習慣をつけていけたらよいと思っています。

さて、今月は楽しみにしていたプラネタリウム学習がありました。規律ある集団行動が求められましたが、生徒たちは決められた時間に集合し、集合場所から宇宙劇場まで整然と移動し、劇場内でもしっかりと説明に傾聴することができました。

また、LDT の時間には外部から講師を招き「思春期の恋愛と性」と題した保健指導が行われました。性感染症予防や避妊方法になどに関する授業に真剣に耳を傾けていました。

日々の学習活動の中で、心身ともに子どもから大人へと大きく変わりつつある生徒の姿が見られました。



MOIS gazette 2023.12.04 No.8

学校だより
さいたま市立大宮国際中等教育学校

4年次「大宮国祭に向けて」

4年次担当：戸所　良介

先日はポートフォリオ検討会にお越しいただきありがとうございました。今年度の学習習慣を振り返り、今後の学習において、良い部分は伸ばしていき、改善すべき部分は修正しながら、今後に生かしていってほしいと思います。4年次の教員一同、子どもたちの様子や姿勢を見ながら、一人一人が希望した進路実現のためにサポートして参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最近の LHR の時間では、大宮国祭の企画決めを行っています。各クラスの HR 委員を中心にアイディアを出し合い、その中からどんな企画にしていくか、議論しながら決めていっていました。話し合いの中では協働スキル、創造性スキル、コミュニケーションスキルなど、授業で培ってきた様々な ATL スキルを発揮して合意形成を図ろうとしています。昨年度の企画はどのクラスも非常にレベルが高かったことから、今年度も非常に楽しみです。

5年次「成果を形に変える」

5年次担当：北川　嘉則

ポートフォリオ検討会ではお忙しいなか日程調整等ご協力いただき、ありがとうございました。進路選択の時期が近づいていることを生徒も実感することができました。折に触れて、将来像について、またその実現に向けて今できることについてご家庭でも話題に出していただければと思います。

さて、11月・12月は学年にとって実りの季節、収穫の季節ではないかと思います。4月から取り組んできたさまざまな活動の成果が目に見える形で立ち現れてくる時期です。各教科の総括的な評価に限らず、これまでの活動の成果をまとめてコンテストに出展する生徒、パフォーマンスやワークショップといった形で表現する生徒、その形はさまざまですが、ただ実績として残すというだけでなく、それをきっかけに自分の強みを発見したり、自分の将来の方向性を決めたりする機会として活かしてほしいと考えています。今月の授業参観では、そのような視点からも生徒の様子をご覧いただき、ご家庭でも振り返っていただければ幸いです。